

家畜人工授精師(ET)養成講習会が開講しました

畜産試験場

紫陽花が彩る梅雨の中、農政部主催の平成25年度家畜人工授精師養成講習会(体内受精卵・牛)を行っています。学科を6月20日(木)から28日(金)、実習を7月1日(月)から25日(木)に行い、約1ヵ月間にわたって講習します。家畜改良増殖法に基づいて行われる講習会で、日頃から人工授精に携わっておられる方々が、体内受精卵の移植技術を獲得することを目的にしています。今年度は5名の方が受講します。

夏季は暑熱のストレスで人工授精による受胎率が低下しますが、体内受精卵の移植は暑熱の影響が比較的小さく、夏季の繁殖性向上にも有効な技術です。受精卵移植の成否には、移植技術のほかに牛の栄養状態も大きく影響します。今回の講習を移植技術の向上だけでなく、受卵牛(レシピエント)の飼養管理を含めた技術支援に活かしていただけるよう、受講者に切に希望します。



東條場長のあいさつに真剣に耳を傾ける5名の受講生と講師

担当者	佐藤 隆	電話番号	0 2 6 3-5 2-1 1 8 8
-----	------	------	---------------------

[試験場だより 442 号へ](#)

[畜産試験場ホームページへ](#)